

# 令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	08-13	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課砂防災害課長 吉田 安範
				担当係	砂防係（内）29-401

## I 基本事項（基準日時点）

事業種別	通常砂防事業費（大規模特定砂防等事業費補助）					
ふりがな 地区名	めまろがわ 芽室川	市町村名	清水町	総事業費	1,931 百万円	
負担割合	国	道	市町村	その他		
	50.0%	50.0%	—	—		
	966 百万円	966 百万円	— 百万円	— 百万円	— 百万円	
事業目的・目標	●土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備の整備を行う。 ●平成28年（2016年）台風10号の大雨により土石流が発生し、著しい渓床低下や側岸浸食が発生した。溪流内には多くの不安定土砂や流木が堆積しており、次期出水時に下流域へ流出が懸念される。 ●砂防堰堤工や流木捕捉工の整備を行い、人家や耕地などを土砂災害から守ることを目的としている。					
	【アウトカム】等 ●土砂災害により被災するおそれのある家屋数 33戸 → 0戸 ●土砂災害により被災するおそれのある耕地面積 333ha → 0ha					
事業概要	芽室川通常砂防事業は、人家や耕地などの保全対象を守るため、砂防設備（砂防堰堤工、流木捕捉工）の整備を行うものである。	工事費内訳	【計画】砂防堰堤工，流木捕捉工	(百万円)	(百万円)	(百万円)
				前回評価	今回評価	増減額
			砂防堰堤工 N=1基 → N=2基	425	836	411
			流木捕捉工 N=2基	333	767	434
			測量設計費 調査設計	187	306	119
			用地補償費 用地買収・物件補償	5	22	17
			計	950	1,931	981
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名	
		生活・安全	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）	
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P26】 （砂防設備等の整備） 土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険箇所など土砂災害の恐れのある箇所について、近年の災害発生状況や保全対象などを勘案し、砂防設備や急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設等の整備を推進する。				
	関連する指標	土砂災害から保全される人家戸数 約2.5万戸（2018） → 約2.7万戸（2022）				

## II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費	道負担額	当該年度事業費	累計事業費	進捗率(b)/(a)
							(a)			(b)	
事前評価又は当初	H29 (2017)	H30 (2018)		H33 (2021)			950	475			
前回再評価											
今回評価		R2 (2020)	R4 (2022)	R8 (2026)	5		1,931	966	400	1,522	79%

### 変更理由・内容（概要）

- 砂防堰堤工の追加などによる増額
- 施設規模の変更などによる増額
- 自然増による増額
- 残事業の施工期間精査による事業期間の延伸

## III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28年（2016年）8月の台風10号により、流域内が荒廃したため、土砂災害が発生する危険性が非常に高い。</li> <li>土砂洪水氾濫区域内に人家や耕地などが位置していることから、砂防設備の整備が必要である。</li> </ul>
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28年（2016年） 清水町からの事業着手の要望を受ける。</li> <li>H29年（2017年） 芽室川通常砂防事業に着手。</li> </ul>
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>清水町 土砂洪水氾濫区域 807ha（うち耕地333ha）、人家32戸 → 33戸、道道28.5km、橋梁8基</li> </ul>

4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容

#### IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画													
	施工(工種)区分	工事内容	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	進捗状況	事業費(百万円)
	砂防堰堤工	N=2基								N=2基			0%	836
	流木捕捉工	N=2基											85%	767
	測量設計費	地質調査・詳細設計等											93%	306
	用地補償費	用地買収・物件補償											70%	22
2. 事業効果	(2) 進捗状況													
	流木捕捉工の整備が完了。 砂防堰堤の追加などによって事業期間を延伸したが、事業は概ね予定どおり進捗しており、今後の実施に当たっても特に大きな支障となるものはない。													
	<b>b</b>	a: 概ね予定どおり実施している。    b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。												
	経済効果の内訳(百万円)			費用の内訳(百万円)				備考						
	項目	R4現在	項目	R4現在	●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省 R2)「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」(国土交通省水管理・国土保全局 砂防部R3年1月)に基づき算出。 ●効果及び費用は、R4に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出。 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。									
被害軽減効果	22,650	建設費	1,868											
		維持管理費	3											
合計(B)	22,650	合計(C)	1,871											
B/C	前回算定年度 : H29年度(2017年度)【事業採択】 前回算定時B/C : 7.45 変更理由 :													
R4現在	・事業費の増額に伴う費用の増加 ・「治水経済調査マニュアル(案)」及び「砂防事業の費用便益分析マニュアル(案)」の改定に伴う便益算定方法の見直しによる効果の増加 ・保全家数の増による効果の増加													
11.74														
3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容									縮減額(百万円)			
	資源循環の促進	すき取り土を法覆工に流用することによってコスト縮減									9			

#### V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、清水町の人家及び耕地等の土砂災害を防止するためのもの。</li> <li>● 今後の出水により下流域への土砂や流木流出が懸念されるなど、土砂災害が発生する危険性が高い。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の進捗を図る必要がある。</li> </ul>											
	<b>a</b>	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。										
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在来魚類(ヤマメ)の遡上に配慮し、砂防堰堤に魚道を設置する。</li> </ul>											
	(2) 事業推進に対する住民の動向											
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 芽室町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。</li> </ul>												
(3) その他の課題												
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul>												
3. 事業達成の見込み	事業計画に影響を与える状況変化や事業推進に影響を与える重大な懸念事項もないことから、事業目標達成が見込まれる。											
	<b>a</b>	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。    b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。										
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和8年度(2026年度)の完成を目指し、事業継続する。											
	<b>a</b>	a: 継続    b: 終了    c: 休止    d: 中止										
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有						

## VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 該当なし 再評価： 該当なし
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

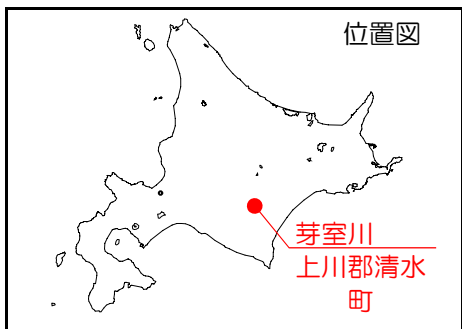
## 補足資料

### VII 事業計画変更

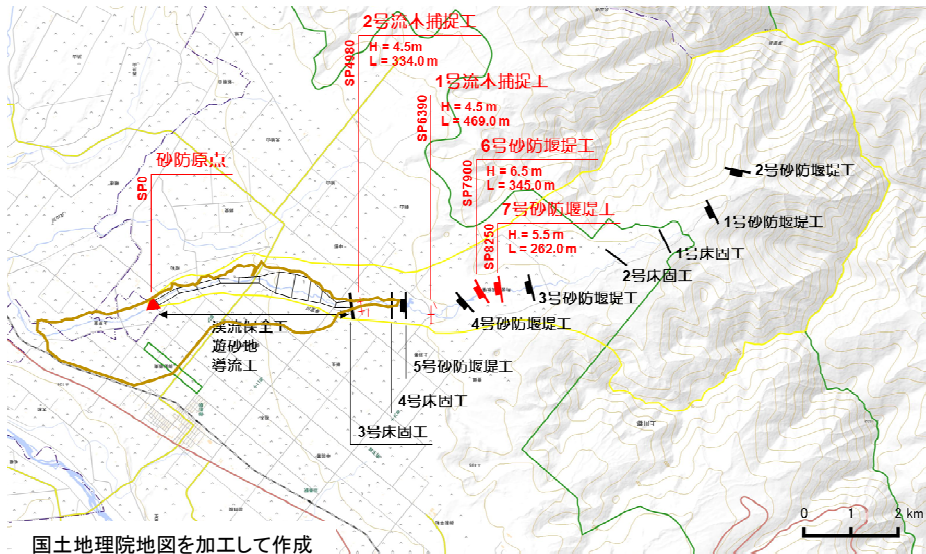
(単位：百万円)

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		H29 (2017)	H30 (2018)			H33 (2021)	5	950			
変更①		H29 (2017)	H30 (2018)		R2 (2020)	R8 (2023)		1,900			
変更②	1回目		R2 (2020)	R4 (2022)	R4 (2022)	R8 (2026)		1,931	400	1,522	79%
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容	変更①：事業期間・総事業費の変更 ・現地調査の結果、砂防堰堤工の配置計画を見直したことなどによる増額 ・砂防堰堤工及び流木捕捉工の施設規模が変更となったことによる増額 ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸  変更②：事業期間・総事業費の変更 ・資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による事業費の増額										

# 芽室川 通常砂防事業費（大規模特定砂防等事業費補助）



凡 例	
	流域界
	計画砂防堰堤工
	既設砂防堰堤工
	計画流木捕捉工
	既設溪流保全工
	国有林界
	想定氾濫域



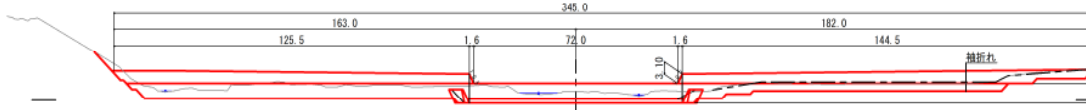
## 事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備の整備を行う。
- 平成28年（2016年）台風10号の大雨により土石流が発生し、著しい渓床低下や側岸浸食が発生した。渓流内には多くの不安定土砂や流木が堆積しており、次期出水時に下流域へ流出が懸念される。
- 砂防堰堤工や流木捕捉工の整備を行い、人家や耕地などを土砂災害から守ることを目的としている。

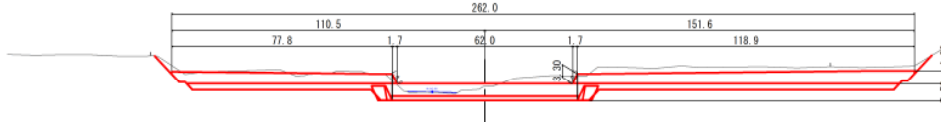
## 事業の概要

芽室川通常砂防事業は、人家や耕地などの保全対象を守るため、砂防設備（砂防堰堤工、流木捕捉工）の整備を行うものである。

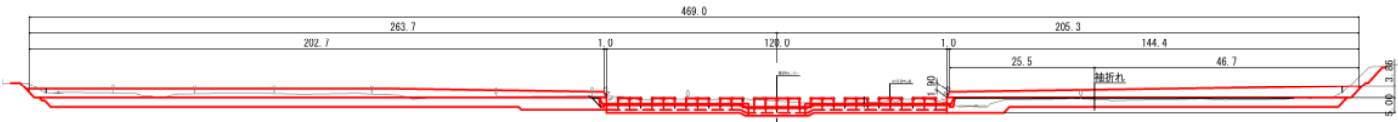
6号砂防堰堤正面図



7号砂防堰堤正面図



1号流木捕捉工正面図



2号流木捕捉工正面図

